



平成 24 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 ガイアホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役 郡山 龍
(コード：3727、東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役 伊藤 洋
(TEL. 050-3786-1715)

平成 24 年 12 月期通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成24年2月13日に公表いたしました平成24年12月期（平成24年1月1日～平成24年12月31日）通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 12 月期通期連結業績予想値の修正（平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,000	500	418	116	11.24
今回修正予想 (B)	7,946	△1,912	△1,930	△2,811	△223.97
増減額 (B) - (A)	△3,054	△2,412	△2,348	△2,927	—
増減率 (%)	△27.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 12 月期実績)	10,502	416	384	510	49.46

2. 修正の理由

コンテンツ・サービス等事業の主力事業会社である株式会社ジー・モード（以下「ジー・モード」）が積極的に開発・展開していたソーシャルゲームに関して、新作が振るわず、売上が当初目標を大幅に下回っており、ゲームを中心に展開する予定だったアニメーションやコミックスの事業、ひいては、海外向けに展開を予定していたコンテンツ・サービスの立ち上げ延期に伴って、相乗効果を図っていたソフトウェア基盤技術事業の売上にも大きな支障を来しております。

よって、採算が取れず回収の目処が立たないゲーム及び関連するコンテンツや商品の除却を行うとともに、影響を受けた子会社ののれんを一括償却し、かつ、事業体制の立て直し期間中に発生する機会損失等も反映したため、通期連結業績予想値については、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも当初予想を下回る見通しとなりました。

本修正に伴い、経営責任を明確にするために、コンテンツ・サービス等事業を推進してきた桑原敏道が平成 24 年 11 月 7 日をもって当社の取締役を辞任し、ジー・モードの取締役として同社の事業構造の再構築に専念するとともに、コンテンツ・サービス等事業に携わっている当社取締役三浦亨及びグループ全体の事業展開の責任を取って当社代表取締役郡山龍が報酬の一部を返上し、来期の収益性改善に向け事業体制の引き締めを行います。

また、国内子会社の事業所の集約を進め、管理体制の強化と間接コストの削減及び営業体制の統合により、厳しい経済環境の中、売上が減少しても利益を確保していく方針で取り組みます。

3. 来期の見通し（連結）

ソフトウェア基盤技術事業の主力事業会社である株式会社アプリックスが今期より重点的に取り組み、同事業セグメントの iaSolution Inc. 及び Zeemote Technology Inc. と共同で開発している M2M 技術の事業分野においては、来期の収益拡大を期待しております。また、映像事業では今期試験的に制作した自社 IP のアニメーション作品の評判が高く、テレビシリーズ化や DVD 化の話が来ており、来期は収益性の高い作品が増える見込みです。更に、出版事業においても秀作に恵まれ、今期第 4 四半期だけで累計 50 万部以上のコミック単行本発行を予定しており、来期は更に発行部数が増える見込みです。しかし、ゲーム事業の体制の立て直しに時間を要することや、昨今の国際情勢により、中国・韓国向けに予定していた大規模なコンテンツ・サービスの展開を延期せざるをえなくなったこと等により、当初計画していた目標を実現することが難しい状況となっております。

注：来期の通期業績予想詳細につきましては、平成 25 年 2 月に開示を予定しております平成 24 年 12 月期決算短信に記載いたします。

4. 特別損失の計上

当社子会社である株式会社アニメインターナショナルカンパニーの経営環境及び業績に鑑み、平成 24 年 12 月期の業績及び現時点での今後の業績見通しを勘案した結果、連結と単体でそれぞれ下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりました。

(1) のれん償却額（連結）

同社取得のれんを一括償却し、連結で 655 百万円の特別損失を計上する見込みとなりました。

(2) 関係会社株式評価損（単体）

当社が保有する同社株式について評価損を計上し、単体で 738 百万円の特別損失を計上する見込みとなりました。

※上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

以上